令和6年度

SAGA ITC

機能性食品・コスメ原料に関する評価技術の確立及びその応用に関する研究（第３報）

食品コスメ部　柘植圭介
宮崎大学農学部　山崎正夫
宮崎大学工学教育研究部　菅本和寛

概要　佐賀県に多く自生する未利用樹木「アオモジ」葉の含有成分や生理機能を明らかにし、機能性素材化を目指す研究です。

アオモジ　クスノキ目クスノキ科ハマビワ属（*Litsea cubeba*）



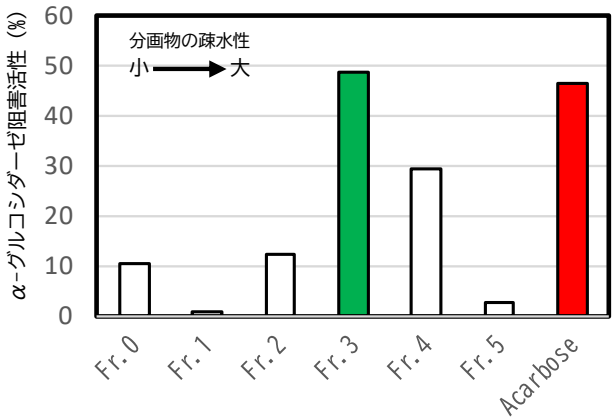
アオモジの生葉

分布：九州以南～東南アジア。**佐賀県南西部（多良山系）における生育密度が極めて高い。**

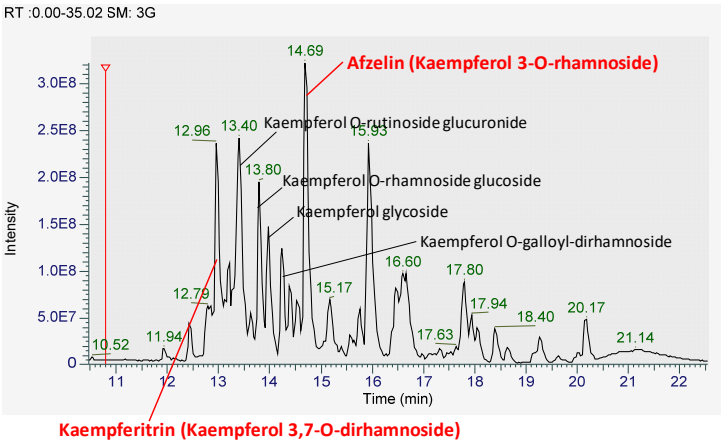
性質：高さは3～5メートル。葉、幹、果実、種子の各々に**強い芳香**があり、佐賀県太良町では「**ショウガバナ**」と呼ばれる雑木。

利用：東南アジアで香辛料や精油等に広く活用されるが、**国内の利用歴はほとんどない。**

機能性素材化を目指し、新たな生理機能性や有効成分について検討



アオモジ葉抽出物の各画分における
α-グルコシダーゼ阻害活性



画分Fr.3のLC-MSクロマトグラム

アオモジ葉抽出物由来の画分（Fr.3）に、糖の吸収を遅らせ、糖の吸収を穏やかにし、食後血糖値の急激な上昇を抑える**α-グルコシダーゼ阻害活性**を認めた。Fr.3は、Afzelin等のフラボノイド類を多く含み、これらが有効成分である可能性が示された。

◇ 詳しい内容は、研究報告書でご覧いただけます。

【お問合せ先】佐賀県工業技術センター 食品コスメ部　0952-30-8162